檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第8号　令和4年(2022年)12月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　令和４年度心の教育推進フォーラム in ひやま「あなたの知らない遊びの世界」

檜山教育局は 11 月 5 日（土）に心の教育推進フォーラム in ひやま「あなたの知らない遊びの世界」をオンラインで開催し、8 家族 11 名の子どもを含む 32 名が参加しました。

子どもと一緒に手作りおもちゃを作りながら家族での楽しい時間の過ごし方を学んだり、家族間の交流をしたりすることで、子どもの豊かな人間性を育むためのヒントになればという思いから、保育士や保育の専門学校での講師経験があり、現在はおもちゃコンサルタントマスターとして活躍されている菊地三奈先生を講師に招き、講演（体験）と座談会を行いました。

紙コップで簡単おもちゃ

講演（体験）では、「紙コップロケット」と「紙コップ腕時計」の工作をしながら、お互いの作品を見せ合ったり感想を話したりして交流しました。

オンラインで交流しました

座談会では、保護者や教育関係者、子育てに興味のある方など 9 名が参加し、子どもの年齢に応じた遊びに関する質問や子どもの興味・関心を引くための具体例などについて話し合いました。

菊地先生からは、「幼児期や小学校低学年の子どもはおもちゃそのものを楽しむ傾向が強いけれど、成長に伴い、友達との関わりの中でおもちゃをツールとして活用することが増えてくる。そのため、中学年以降の集団活動場面で緊張している子どもがいるときには、集団で取り組むことができるボードゲームや、体を動かしながら遊べるゲームが有効である。」など、発達段階に応じた工夫についてアドバイスをいただきました。

実施後のアンケートでは、多くの参加者から「遊びを通して親子の繋がりを深めることが子どもの心の育成につながる」との回答をいただくなど、有意義なフォーラムとなりました。

＜参加した子どもの感想＞

いろんなお友達が作ったものが見れて楽しかった。

教えてもらったおもちゃを友達と作って遊んでみたい。

紙コップがいろんなものに変身してびっくりした。

＜参加者アンケートの感想＞

講演（体験）

オンライン上でも楽しみながら時間の共有ができ、子どもにとっても良い経験になりました。

子どもと一緒に身近なもので自由に工作を楽しむことは、創造力や感性を豊かにする上で大切だと改めて感じました。

座談会

今しかない小さな我が子との時間を大切にしたいと感じました。余裕を持って子どもと関わることが大切だと学びました。

全体を通して

遊びを通して思いやりの心を育むことの大切さを学ぶことができました。

心の教育推進フォーラムは、心の教育推進会議（北海道、北海道警察本部、北海道教育委員会）が、毎年 11 月を「北海道心の教育推進キャンペーン強調月間」に設定し法務省人権啓発活動地方委託事業の一環として行っているものです。

2　江差町ＰＴＡ連合会の研修会を実施しました

令和４年度「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」

講演に耳を傾けた

北海道教育委員会と江差町教育委員会は、11 月 10 日（木）に「子どもの未来のため、今私たちにできること」をテーマとした研修会を江差町文化会館大ホールで実施しました。町内の小中学生の保護者や教職員など 57 名が参加しました。

HBC ラジオで「金子耕弐のファミリートーク」のパーソナリティとして活躍されている FT オフィス代表の金子耕弐氏を講師に招き、「この時代の家庭と子育てに必要なこと」と題して講演いただきました。

金子氏は、「子育てとは、良い人間関係を築くこと」をベースに、親と子、夫婦間、祖父母と孫などの人間関係を構築する上で「愛情」「時間と感動の共有」「親は指導する立場」という「３つの柱」が大切であると話しました。

○　親に愛された子は受けた愛情の分だけ他人に分け与え、人に親切にできるようになるので、たくさん愛情を注いでほしい。

○　親子で話す時間が少なくなると心の距離が離れてしまう。多くの時間を子どもと過ごし、旅行や趣味の共有など小さな感動の積み重ねを心がけてほしい。

○　子どもの個性は尊重されるべきではあるが、スマホやゲームなどのメディア利用について家族でのルールづくりをするなど、親として子どもをしっかり支えてほしい。

という金子氏の話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

質疑応答では、「今後どのように子どもと関わっていくと良いか」などの質問に自身の経験を元に具体的なアドバイスをしていただくなど、多くの参加者にとって子どもの生活習慣や学習習慣について見直すきっかけとなる講演会になりました。

＜今後学びたいテーマについて＞

	全体	教職員	保護者
メディア利用（ネット・スマホなど）	57%	67%	70%
友人関係・コミュニケーション	60%	89%	50%
進学・就職	27%	11%	40%

当日実施したアンケートにおいて、教職員は友人関係・コミュニケーション、保護者はメディア利用についての関心が高いことが分かりました。

＜講演の感想＞

子どもとの関わりについて振り返ることができました。中学生と高校生の息子と、時間を共有することはあまりなくなりましたが、彼らの興味のあることを切り口に関わりを持ち続けたいと思います。

時間と感動の共有を家族でたくさん積み重ねて、子どもに幸せになってもらいたいとすごく思いました。

親子関係づくりについて楽しく話を聞けました。子どもに愛情を注ぐことの大切さを改めて知らされました。

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○　「ひやまをつなごう」の個人配信の開始について

「ひやまをつなごう」をより多くの方に知っていただくため、個人配信を開始しました。最新号を直接配信いたします。右の QR コードから簡単に登録できますので、皆様のご登録をお待ちしております。

情報提供・アンケート・個人配信登録はこちらから！！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です